

方向性3

豊かな心が育ち、

新たな価値が生まれるまちへ

施策体系

3-1 未来を担う人材を育成する

- 3-1-1 学校教育の振興
- 3-1-2 地域の教育力の向上
- 3-1-3 こどもの参画の推進

3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

- 3-2-1 生涯学習の推進
- 3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

3-3 文化を守り、はぐくむ

- 3-3-1 文化・芸術の振興
- 3-3-2 文化的財産の保全と活用

3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

- 3-4-1 国際化の推進
- 3-4-2 大学・企業等との連携の推進

3-5 市民の力をまちづくりの力へ

- 3-5-1 市民参加・協働の推進
- 3-5-2 男女共同参画の推進

3-1 未来を担う人材を育成する

3-1-1 学校教育の振興

施策の展開

児童生徒の学力を正しく把握し、確かな学力の育成に向けた「わかる授業」を推進するとともに、情報教育の充実などを通じ、学びを深め、広げる教育を推進します。

また、各種体験学習や豊かな情操を育む教育などにより、社会性を備えた豊かな心を育む取り組みを進めるとともに、不登校児童の学校復帰や、特別支援教育※、増加する外国人生徒の学びへの支援など、多様な教育的支援を充実させるための教育環境の整備を進めます。

本市の小・中学校は、少子化の影響により、多くの学校で小規模校化が進むとともに、一部の地域では、マンション開発等による大規模校化が発生するなど、学校間の教育環境の不均衡や運営上の問題が生じています。公平な教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校の統合などによる適正配置を進めます。

また、学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、地震など災害時の避難所として重要な施設であるため、その耐震化を早急に実現するよう学校施設の耐震補強を推進します。

さらに、本市の学校施設は人口が急増した昭和40～50年代に建設されたものが多く、老朽化が進んでいるため、施設の維持保全や耐久性向上のための改修を計画的に進めます。

このほか、学校給食については、地場農産物の使用など、地産地消を推進するとともに、食材にかかる放射性物質の検査を実施します。

計画事業

1 わかる授業の推進

● 学力状況調査の実施（指導課）【新規】

児童生徒の学習状況や学習指導上の課題を把握し、「わかる授業」を推進するため、全ての小・中学校を対象として本市独自に学力状況調査を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
小・中学校学力状況調査	—	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科

2 学校適正配置

● 学校適正配置（小・中学校の統合等）の推進（教育委員会企画課）



児童生徒のよりよい教育環境を整備し、教育の質を充実するため、小・中学校の統合等により学校適正配置を推進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
統合校	5校	4校	9校
協議継続地区	3地区(23年度事業量)	3地区	3地区

● 学校適正配置に伴う施設改修（学校施設課）

児童生徒の教育環境を整備するため、学校統合により統合校となる学校施設を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
施設改修	2校	7校	9校

3 学校の安全対策・整備・活用

● 学校施設の安全確保（学校施設課）

大地震時における児童生徒の安全性を確保するとともに、地域の避難所となる校舎及び屋内運動場の耐震化を図るため、耐震補強や校舎の改築を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
校舎の耐震補強	小学校 35校	小学校 50校	完了
	中学校 12校	中学校 25校	完了
		高等学校 1校	完了
		特別支援学校 1校	完了
屋内運動場の耐震補強	小学校 37校	小学校 44校	完了
	中学校 18校	中学校 13校	完了
		高等学校 1校	完了
		特別支援学校 1校	完了
校舎の改築			
	緑町小学校 松ヶ丘中学校	工事 工事	完了 完了

● 校舎等の大規模改修（学校施設課）

学校施設の耐久性向上を図るため、老朽化した学校の校舎を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
緑が丘中学校	実施設計	工事	完了

●校舎の増築（学校施設課）

新宿小・中学校区の児童生徒数の増加に対応するため、新宿中学校の校舎を増築します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
新宿中学校増築	実施設計	工事	完了

●学校防犯対策の推進（学事課）

子どもの安全を確保するため、小・中学校等に防犯カメラシステムを設置します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
学校防犯カメラシステムの設置	50校	9校	59校

4 特別支援教育※の振興

●高等特別支援学校の整備（指導課）【新規】

増加する生徒に対して、多様なニーズに対応した教育を充実するため、旧真砂第二小学校跡施設に高等特別支援学校・養護学校高等部分校を整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
高等特別支援学校の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始

●特別支援学級等設備の充実（養護教育センター）

特別支援学級等の児童生徒の多様なニーズに対応した教育を充実するため、備品を整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
新設学級への備品整備	98校	24校	122校

5 多様な教育的支援の充実

●教育相談指導教室の整備（指導課）

心理的な要因により不登校になった生徒の通常学級への復帰をめざすため、教育相談指導教室を旧真砂第二小学校跡施設に整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
教育相談指導教室の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始

●日本語指導通級教室の整備（学事課）【新規】

外国人生徒の教育を円滑に進めるため、旧真砂第二小学校跡施設に日本語指導通級教室を開設します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
日本語指導通級教室の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始

3-1-2 地域の教育力の向上

施策の展開

こどもの頃の様々な体験は、その後の人生におけるやる気や生きがいに影響を与えるものと考えられており、特に友人や、地域、家族とのかかわり合いが大切です。このため、学校、家庭、地域のつながりの中で、様々な主体の参画のもと、地域全体でこどもをはぐくむ地域の教育力の向上を図る仕組みづくりが必要です。

こどもをはじめとした地域住民の学習活動や交流活動を促進するため、学校の特別教室の開放を進めます。

また、こども同士や、地域住民とこどもとの関わりを通じた体験活動機会を創出するため、放課後子ども教室を推進します。

さらに、地域全体でこどもをはぐくむ仕組みづくりを進めるため、公民館や生涯学習センターなどにおいて、子育てに関する学習機会の提供や、親同士の仲間づくりなどを支援する取組みを進めます。

計画事業

●特別教室開放の推進（生涯学習振興課）

こどもの健全育成や地域活動の活性化を図るため、地域住民などの参画により、小学校の特別教室を開放します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
実施校の拡充	2か所	3か所	5か所

■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課）

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域住民などの参画により、様々な活動の機会を提供します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
参加指導員・協力員数	37,000人/年	11,000人/年増	48,000人/年
参加児童数	126,000人/年	36,000人/年増	162,000人/年

■家庭教育を支援する学習の推進（生涯学習振興課）

家庭教育を支援し子育ての不安や悩みを解消するため、公民館などで相談事業や学習講座を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業
家庭教育支援チーム	1区	1区増	2区
子育てサポーター	3人/区	3人/区増	6人/区

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 放課後子ども教室の推進**

放課後や週末の小学生の居場所として、全ての市立小学校で週1回程度、放課後子ども教室を実施しています。現在、町内自治会や老人会、PTA、保護者会や公民館のクラブ・サークル、地域の商店や企業、地元の大学生のみなさんの協力を得て、子どもの学習やスポーツ、文化芸術活動、地域との交流活動などを行っています。

☛生涯学習振興課（043-245-5957）

2 家庭教育を支援する学習の推進

地域におけるつながりの減少など、子育てを支える地域環境が変化しています。稲毛区小仲台をモデル地区として、家庭教育を支援する活動などにより、子育てサポーターの育成などの取組みを行っています。

☛生涯学習振興課（043-245-5954）



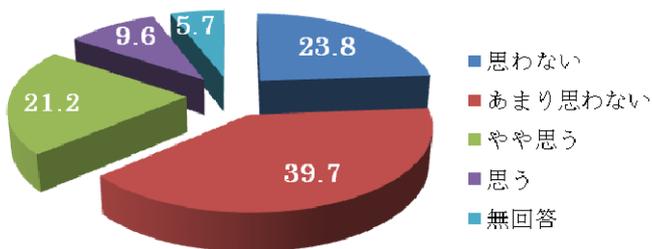
3-1-3 こどもの参画の推進

施策の展開

未来を担う人材を育成するため、こどもの頃から地域課題に関する情報に触れ、課題解決のための意見を述べる場を設定するなど、こどもの主体性や社会性をはぐくむ取組みを進めます。また、こどもの自治意識を育てるため、学校の生徒会活動の活性化に向けた取組みを進めます。こどもにとっても暮らしやすいまちとするため、こどもの目線からまちづくりの現状や課題を検証するワークショップ※などを開催します。また、こどもの力（ちから）フォーラムをはじめとした、こどもの参画の取組みをさらに実質的なものとするため、市民活動団体の活動と連携するなど、こどもの意見や考えを市政やまちづくりに活かす環境整備を進めるとともに、こどもの参画の意義を認識し、こどもの意見や声を受け止めることのできる社会づくりを進めます。

図表 17

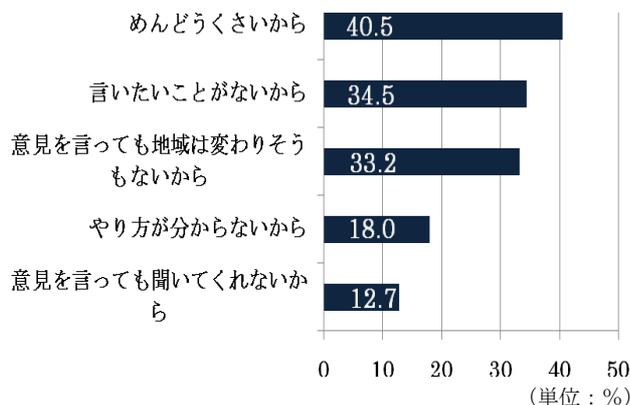
地域の環境や活動等について意見を発言してみたいと思うか (%)



(出典：中・高校生アンケート調査、H21)

図表 18

「思わない」と答えた主な理由 (図表 17 関連)



計画事業

こどもの参画の推進 (こども企画課)

こどもの社会への参画と自覚を促し、その自立につなげるため、「こどもの力ワークショップ」などのモデル事業を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
こどもの力ワークショップ	2区で開催	4区で開催	全区で開催
こども人材バンク登録数	60人	90人増	150人

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 こどもの力（ちから）ワークショップ

小学校高学年から高校生を対象として、こどもを取り巻く様々な課題等について話し合い、本市や社会に対する考えを深め、その自立に寄与することを目的として、ワークショップ※を開催しています。

☎こども企画課 (043-245-5673)



3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

3-2-1 生涯学習の推進

施策の展開

公民館や図書館、生涯学習センターなど学習支援施設における学習講座等の参加者は、平成17年度（2005年度）の約12万人から平成22年度（2010年度）には21万人へ増加しており、引き続き、市民生活と地域の課題に応じた学習機会の提供を行います。

ボランティア活動など、市民の地域活動への参加意向は低く、学習成果を地域に還元するための支援も十分とは言えません。また、学習活動に関する情報提供の充実に関する要望が高くなっています。

市民一人ひとりの生涯を通じた学習活動による成果が、地域づくりに生きる仕組みを構築するため、市民生活や地域の課題について、市民一人ひとりが学び、地域づくりにかかわることのできる環境を整備するとともに、学習関連情報の発信や学習支援施設の改修など、学びを支える環境づくりを進めます。

計画事業

1 地域づくりを支援する生涯学習の推進

■地域づくりにつながる学習講座の推進（生涯学習振興課）

地域活動に携わる人材を養成するため、公民館や生涯学習センターで学習講座を開催します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
地域活動に係る人材養成	890人/年	50人/年増	940人/年

■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課） 【再掲】

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域住民などの参画により、様々な活動の機会を提供します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
参加指導員・協力員数	37,000人/年	11,000人/年増	48,000人/年
参加児童数	126,000人/年	36,000人/年増	162,000人/年

■家庭教育を支援する学習の提供（生涯学習振興課） 【再掲】

家庭教育を支援し子育ての不安や悩みを解消するため、公民館などで相談事業や学習講座を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業
家庭教育支援チーム	1区	1区増	2区
子育てサポーター	3人/区	3人/区増	6人/区

2 社会教育施設の充実

●公民館の改築（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化の著しい公民館を改築します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
犢橋公民館の改築	—	基本設計	基本設計

●公民館の改修（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化の著しい公民館を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
冷暖房改修	—	4館	4館
屋上防水改修	—	8館	8館
トイレ改修	—	11館	11館

■読書環境整備の推進（中央図書館管理課）【新規】

良好な読書環境を整備するため、ICTの活用や施設の機能更新など、読書環境の整備にかかる計画を策定します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
計画の策定	—	調査、策定	策定

●図書館の改修（中央図書館管理課）

市民の読書環境を改善するため、老朽化した図書館を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
みやこ図書館	—	空調設備改修	空調設備改修 完了

●南部青少年センターの改修（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、南部青少年センターの設備を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
1階フロア	—	バリアフリー化 ラウンジ段差解消、女子トイレ改修	バリアフリー化 完了
ホール	—	床、客席等改修	改修 完了

●真砂コミュニティセンターの再整備（市民総務課）【再掲】

コミュニティづくりを推進するため、真砂コミュニティセンターを旧真砂第一小学校跡施設に整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
耐震補強	—	耐震診断、設計、工事	工事完了
施設改修	—	改修工事	工事完了

●コミュニティセンターの改修（管財課、市民総務課）【再掲】

コミュニティセンターの安全性の向上や機能回復を図るため、施設を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
中央コミュニティセンター （体育館換気設備更新）	—	設計、工事	完了
中央コミュニティセンター 松波分室（耐震補強）	—	設計、工事	完了
幕張コミュニティセンター （外壁・屋上防水改修）	—	設計、工事	完了
畑コミュニティセンター （耐震補強、外壁・屋上防水改修）	—	設計、工事	完了

3 科学・技術に気軽に親しめる環境づくり

■科学都市戦略の推進（経済企画課、指導課、生涯学習振興課）

科学・技術を身近に感じることができる環境を創出するため、企業や大学、NPO等との連携を推進し、科学フェスタにおける事業数を拡充します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
科学フェスタ事業数	173 事業	27 事業 増	200 事業

参加と連携 ～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

1 地域活動の指導者養成

生涯学習センターや公民館では、地域課題の解決に向けたボランティア活動やサークル活動などを行っている市民のみなさんが、活動に役立つ実践的な内容を学ぶ機会を提供しています。

☎生涯学習振興課（043-245-5957）

2 科学フェスタ

市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典として、企業や大学、NPO、個人のグループ等が参加する「科学フェスタ」を開催しています。参加団体がブース出展などを行うメインのイベントに加え、公民館や参加団体が、市内各所で科学・技術関連の講座やイベントを開催しています。 ☎生涯学習振興課（043-245-5957）

事業の見直し

●公民館の管理運営

指定管理者制度や施設利用にかかる公平な受益者負担の導入について検討します。

3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

施策の展開

市民のスポーツ・レクリエーションへの多様なニーズに対応するため、各種スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、市内すべての小・中学校の校庭や体育館等を、地域のスポーツ・レクリエーション活動に開放するなど、スポーツ・レクリエーション活動の場の提供を推進します。

また、本市には、千葉ロッテマリーンズや、ジェフユナイテッド市原・千葉の2つのプロスポーツチームがあり、ホームゲームには全国から多くの観客が訪れるほか、国際千葉駅伝など全国規模のスポーツイベントを開催しており、今後もスポーツを核とした市民活力の向上や、一体感の醸成につながる取組みを進めます。

市民のスポーツ・レクリエーションの振興は、市民の健康づくりをはじめ、地域の活性化や地域づくりなどに大きく寄与するため、今後とも、市民ニーズに対応した情報発信や指導者養成、スポーツ・レクリエーション団体の連携など、スポーツ・レクリエーション施策を推進します。

図表 19 市に期待するスポーツ・レクリエーション
振興施策 上位3位

項目	H21
健康・体力づくりの推進	49.0%
スポーツ施設の充実	39.6%
中高年のスポーツ・レクリエーション活動の推進	30.8%

(出典：千葉市スポーツ・レクリエーションに関する意識調査)



ふれあいフェスタ (ジェフユナイテッド市原・千葉)

計画事業

1 ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション施設の充実

●海浜地区スポーツ広場の整備 (スポーツ振興課)

身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、海浜地区のスポーツ広場の整備を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
海浜市民運動場	—	用地取得	用地取得

●ポートアリーナの改修 (スポーツ振興課)

施設環境を改善するため、老朽化したポートアリーナを改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
中央監視装置・熱源機器改修	実施設計	工事	完了

●こてはし温水プールの改修（スポーツ振興課）

施設環境を改善するため、老朽化したこてはし温水プールを改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
ガラスドーム改修	—	設計、工事	完了

●高洲市民プールの整備（スポーツ振興課）

安全で快適なスポーツ環境を提供するため、老朽化した高洲市民プール及び体育館の再整備を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
プール・体育館の建替え	—	設計、工事	工事

●QVCマリンフィールドの充実（公園管理課）【再掲】

来場者の安全性や快適性向上のため、施設を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
施設改修	トイレ改修、人工芝張替	トイレ改修、コンコース階段手すり、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手すり、中央監視装置、音響システム

2 魅力あふれるスポーツの振興

●トップスポーツとの連携の推進（スポーツ振興課）【新規】

市内のトップスポーツチームやトップアスリートによる社会貢献活動を推進するため、チーム等と市民のニーズのコーディネートを推進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
チーム・選手の情報発信	—	情報のデータベース化	情報のデータベース化
社会貢献活動支援	—	実施	実施

■スポーツイベント誘致の推進（スポーツ振興課）【新規】

スポーツ振興や地域活性化を図るため、全国レベルのスポーツイベントの誘致や開催支援を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
スポーツイベントの誘致及び開催支援	—	3件増	3件増

事業の見直し

●高原千葉村の管理運営

高原千葉村（群馬県利根郡みなかみ町）は市民の保養・レジャー施設として利用されていますが、老朽化による大規模修繕が予定されているため、施設のあり方について検討します。

トピック 千葉市にゆかりのあるスポーツ選手

本市を本拠地とするトップスポーツチームには、プロスポーツでは、千葉ロッテマリーンズ（プロ野球）と、ジェフユナイテッド市原・千葉（Jリーグ）があるほか、アマチュアでは、富士通陸上競技部や、JFE東日本硬式野球部、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースなどがあります。

平成23年（2011年）、ドイツで開催された女子サッカーワールドカップで優勝し、全国に多くの感動を与えた、なでしこジャパンの活躍は記憶に新しいところですが、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの選手も同代表メンバーで活躍しました。

また、北京オリンピックに出場し、女子トライアスロンの第一人者である上田藍選手や、韓国で開催された世界陸上競技選手権大会に出場した、400mハードルの今関雄太選手は、本市稲毛区を活動の拠点としています。

栗生隆寛選手は稲毛区在住のプロボクシング選手で、WBC世界フェザー級とスーパーフェザー級の2階級を制覇する活躍をみせています。池田勇太選手は、若葉区出身のプロゴルファーで、高校時代より日本や世界ジュニア選手権で優勝するなど活躍しており、今後もワールドワイドな活躍が期待されています。

このように、本市は日本を代表するトップスポーツチームや、トップアスリートが数多く在籍・在住、輩出しているスポーツ都市としての側面も有しており、今後、トップアスリートなどによる地域交流などを積極的にコーディネートするなど、スポーツを通じたまちづくりを推進するとともに、トップスポーツチームや選手たちの活躍を、広く市民のみなさんにも知っていただけるよう、PRなどを強化していく方針です。



上田藍選手

3-3 文化を守り、はぐくむ

3-3-1 文化・芸術の振興

施策の展開

文化・芸術は人々の感受性を豊かにし、ゆとりと潤いを実感できる生活を実現するうえで、大きな役割を担っています。これまで培われてきた多様な伝統文化を保存、継承するとともに、市民参加を促進し、文化・芸術活動を通じた市民の交流の場を広げます。

千葉市美術館における企画展やベイサイドジャズ千葉、芸術文化新人賞などの各種文化施策を推進するとともに、様々な媒体を活用した情報発信などを通じ、市民が文化・芸術に身近に触れられる機会の充実を図ります。

また、地域住民の文化・芸術の発表の場や、優れた舞台芸術を鑑賞することのできる文化施設について、計画的な改修を進めます。

図表 20 市の文化芸術を発展させるために重要なこと
上位5位

項目	
文化施設に行きたくなるようなプログラムの実施	47.4%
学校等で、子どもが文化芸術活動を体験できること	43.7%
千葉の歴史、伝統芸能、民話などの理解	41.1%
既存の公共施設を使いやすくすること	34.6%
新しい文化の創造・発信	23.3%

(出典：インターネットモニターアンケート、H19)



新千葉笑い（上）とベイサイドジャズ千葉（下）

計画事業

●文化施設の改修（文化振興課）

利用者の安全と利便性を確保するため、老朽化した設備等を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
市民会館（発電機室耐震改修）	—	施設改修	完了
市民ギャラリー・いなげ（擁壁補修・補強）	—	施設改修	完了

3-3-2 文化的財産の保全と活用

施策の展開

本市は、高度経済成長期に転入してきた市民が多いなど、地域の歴史や伝統に対する認識や理解が育ちにくい環境にあります。

旧生浜町役場庁舎などの指定文化財をはじめ、地域の伝統行事や道しるべなどの地域文化財など、地域固有の歴史や伝統文化を活用し、市民のふるさと意識の醸成や次代を担うこどもたちへの伝統文化の保存、継承などを進めます。

また、市域の史料や人々の記憶を市民共有の財産として後世に伝えるため、市史の編さんを進めます。

さらに、市内の各地域にどのような文化財や歴史資産が受け継がれているのか、その歴史的な価値を含めた検証を進めます。



登戸の神楽囃子（地域文化財）

図表 21

市をよくするために重要なこと〔文化、スポーツ、レクリエーション、国際化〕上位3位

項目	H21	H16
スポーツ・レクリエーション施設の整備	42.8%	47.6%
文化財・伝統文化の保存と活用	41.4%	39.4%
博物館や文化ホールなど、文化施設の充実	36.1%	36.1%

（出典：市民1万人アンケート）



～市民のみなさんの声～

- 埋もれた伝統行事を発掘するなど、地域の文化や伝統を知ることが大切であり、こどもたちにも継承していくべきです。

計画事業

●加曾利貝塚の出土資料整理（生涯学習振興課）【新規】

加曾利貝塚の特別史跡※指定を目指すため、出土資料の再整理を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
出土資料の再整理	—	実施	完了

●博物館の耐震改修（生涯学習振興課）

耐震性の低い施設の安全性の向上を図るため、博物館の施設の耐震補強改修を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
加曾利貝塚博物館耐震補強	—	工事	工事

●文化財等の保存・活用の推進（生涯学習振興課）

市内の歴史的建造物の保存・活用などを推進するため、調査を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
旧検見川無線送信所	—	文化財調査	文化財調査

3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

3-4-1 国際化の推進

施策の展開

本市の外国人市民は、平成24年（2012年）1月末時点で約2万2千人であり、国別で見ると、中国人が10,305人で最も多く、韓国・朝鮮人が4,269人、フィリピン人が2,402人となっています。

東日本大震災において、日本語によるコミュニケーション能力の不足など、災害時要援護者としての外国人市民の実態が明らかとなりました。今後は、外国語ややさしい日本語での情報発信をはじめ、外国人市民が安心して暮らせる支援体制を整備するとともに、日本人市民が外国人市民を受け入れる意識を育成するなど、異なる文化的背景を持つ市民がお互いに助けあうことができる地域社会の構築を図ります。

また、海外都市との交流については、姉妹・友好都市との交流を中心として、効果的・戦略的な取組みを進めます。

計画事業

■外国人市民の生活支援の推進（国際交流課）

外国人が安心して暮らせる社会環境をつくるため、災害時の情報発信強化や日本語指導内容の拡充等を推進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
生活支援	—	外国人市民の町内自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	外国人市民の町内自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充

■姉妹・友好都市との交流促進（国際交流課）



姉妹・友好都市と経済や観光などの分野において連携関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
姉妹・友好都市交流	2市（23年度事業量）	ヒューストン市、ケソン市	ヒューストン市、ケソン市
青少年交流	3市（23年度事業量）	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市

●国際経済交流の推進（経済企画課）【再掲】

姉妹・友好都市との経済交流を進めるため、企業訪問団の受入れや企業進出の支援などを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
企業商談会	—	1回/年	1回/年
海外進出企業向けセミナー	—	2回/年	2回/年
インキュベーション施設※への入居支援	—	1社	1社

●日本語指導通級教室の整備（学事課）【新規】【再掲】

外国人生徒の教育を円滑に進めるため、旧真砂第二小学校跡施設に日本語を指導するための教室を整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
日本語指導通級教室の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始

3-4-2

大学・企業等との連携の推進

施策の展開

複雑化・多様化するまちづくりの課題に的確に対応し、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、大学や企業等と包括協定を締結するなど、まちづくりにおける連携の強化を図ります。

また、千葉大学サイエンスパークセンターや千葉大亥鼻イノベーションプラザなど、本市に立地する大学や企業の持つ高度な知的資源や人材、ネットワークなどを有効に活用し、大学、企業との共同研究を行うとともに、新しいビジネスや次世代をリードする新事業、新産業の創出を図ります。

本市には放射線医学総合研究所をはじめとした最先端の学術研究機関や企業、科学館、理数科を設置している市立千葉高校など、科学にゆかりのある施設が数多く立地していることから、各機関と連携し、こどもから大人まで、市民が身近に科学に触れることができ、科学を文化として気軽に親しめるまちづくりを進めます。



淑徳大学消防隊

計画事業

● まちづくり活動団体への助成（稲毛区役所地域振興課）  【再掲】

市民主体のまちづくりを推進するため、「文教のまち 稲毛区」の特色を活かし、地域課題の解決などに取り組む学生を含む団体等に対し、助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
まちづくり活動団体への助成	稲毛区 10件/年	5件/年増	15件/年

● 地域防犯ネットワークの推進（市民サービス課）  【再掲】

地域防犯に取り組むネットワークを推進するため、事業者と市で「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」を締結します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
防犯への協力に関する覚書締結	49団体	3団体/年	58団体

■ 科学都市戦略の推進（経済企画課、指導課、生涯学習振興課）  【再掲】

科学・技術を身近に感じることができる環境を創出するため、企業や大学、NPO等との連携を推進し、科学フェスタにおける事業数を拡充します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
科学フェスタ事業数	173事業	27事業増	200事業

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 企業や大学等と本市の包括協定の締結内容 ()内は協定の締結年月。

①大学

・国立大学法人千葉大学（平成22年〔2010年〕2月）

千葉大学の地域貢献に関することや、市の施策の推進や地域の課題解決のための知的資源、人的資源及び物的資源の活用、人材育成に関することなど。

・淑徳大学（平成22年〔2010年〕5月）

淑徳大学の福祉、看護、地域政策等の専門性を生かした地域貢献活動や商店街活性化事業など。

②企業等

・公益社団法人子ども環境学会（平成22年〔2010年〕12月）

子ども環境学会の地域貢献に関すること、市の施策の推進や地域の課題解決のための知的資源、人的資源及び物的資源の活用など。

・独立行政法人放射線医学総合研究所（平成23年〔2011年〕3月）

科学技術交流及び国際交流に関することや、産学官連携、相互の知的資源の活用、本市の推進する科学都市戦略の実現に関することなど。

・独立行政法人都市再生機構（平成23年〔2011年〕8月）

既成市街地における拠点機能の整備・向上や都市防災機能の向上と災害時における対応、賃貸住宅ストック等の再生・活用、高齢者・子育て世帯等に配慮したまちづくりの推進など。

・イオン株式会社（平成23年〔2011年〕5月）

地域 WAON カードの活用、企業立地支援、商業・観光の振興、地産地消の推進・市製品の販売促進など13項目の取組について推進。市独自の提携項目として「企業立地支援に関すること」や、市のインキュベート施設※を卒業した企業がイオンへの出店を希望する場合の各種情報提供、国外店舗における市が実施する姉妹都市等との経済交流の推進への協力など。

・株式会社千葉銀行（平成23年〔2011年〕11月）

国際経済交流の推進や企業立地支援、創業・新事業創出支援、地産地消・農商工連携の推進、観光振興など8項目について推進。

3-5 市民の力をまちづくりの力へ

3-5-1 市民参加・協働の推進

施策の展開

広く市民がまちづくりの情報を共有するため、様々な媒体を通じ、市政情報の積極的な発信に努めるとともに、区役所をはじめとした市全体の広聴機能を充実し、市民との相互理解を深めるなど、市民主体のまちづくりの基盤づくりを進めます。

また、公園の維持管理や防犯・防災の分野など、市民との協働によるまちづくりが進んでおり、引き続き、協働事業提案制度をはじめとした、市民の創意をまちづくりに活かす取組みを推進します。

市民との協働の拠点である区役所については、地域づくりの機能を高めるとともに、市民や地域団体など様々な主体の参加や連携をコーディネートしながら、地域課題の解決や地域の魅力発信を積極的に進めます。

さらに、平成23年（2011年）3月に発生した東日本大震災を受けて、町内自治会など地域コミュニティの役割の重要性が再認識されています。まちづくりの担い手として、町内自治会の育成や加入促進を進めるとともに、地域の身近な課題を発見し、解決する市民団体などの活動を支援することにより、市民の自治意識や地域力の向上を図ります。



～市民のみなさんの声～

- 災害発生時など、いざというとき、見知らぬ人にもものは頼りません。地域住民が知り合い同士になれるような取組を進めてほしい。

計画事業

1 市民主体のまちづくりの推進

●協働事業提案制度の実施（市民自治推進課）



市民サービスの向上や市が実施している事務事業の改善につなげるため、市民団体から提案を募集し、協働で事業を実施します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
市民からの事業提案	募集、選考	実施	実施

●市民公益活動支援システムの構築（市民自治推進課）【新規】

市民公益活動を行うNPOやボランティアなどを支援するため、様々な情報の集積・提供を効果的に
行う情報システムを構築します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
NPO法人認定・認証システム	開発準備	開発	運用
ボランティアシステム	データベース作成、 一部開発・運用	開発	運用

●若葉区まちづくり支援システムの活用（若葉区役所地域振興課）

区民一人ひとりのまちづくりへの参加意識を高めるため、地域ごとの将来像を示すシステムの充実を
図るとともに啓発と支援を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実
普及啓発	—	出張講座	出張講座

●美浜区人財バンク（美浜区役所地域振興課） 【新規】

シニア世代の生きがいづくりや世代間交流を促進するため、地域のまちづくりのための人材情報のマ
ッチングを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
人財バンク	—	公募、人材マッチング、 地域大学校の開設	人材マッチング、地域大 学校の開設

●美浜区の魅力発見ウォーキング（美浜区役所地域振興課） 【新規】

区の特性を活かしたまちづくりを推進するため、区民が地域の魅力を発見するウォーキングを実施し、
周知・PRを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
区民とウォーキング	—	2回/年	2回/年
マップ作成	—	マップ作成	マップ作成

2 地域のまちづくり活動への支援

■町内自治会の加入促進（市民自治推進課）

よりよい地域社会をつくりあげるため、町内自治会の加入促進に向けた啓発活動を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯/年増	301,000世帯

●町内自治会集会所の整備（市民自治推進課）

町内自治会活動を促進するため、旧真砂第一小学校跡施設に町内自治会集会所を整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
町内自治会集会所	—	改修工事	完了

●まちづくり活動団体への助成（各区役所地域振興課）



市民主体のまちづくりを推進するため、地域課題の解決などに取り組む団体に対し、助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
まちづくり活動団体への助成	中央区 15件/年	45件/年	45件/年
	花見川区 5件/年	3件/年増	8件/年
	稲毛区 10件/年	5件/年増	15件/年
	緑区 10件/年	5件/年増	15件/年
	美浜区 10件/年	5件/年増	15件/年
活動団体交流会	—	美浜区 2回/年	美浜区 2回/年
地域リーダー育成	—	中央区 2回/年	中央区 2回/年

3 地域コミュニティの活性化

●真砂コミュニティセンターの再整備（市民総務課）

コミュニティづくりを推進するため、真砂コミュニティセンターを旧真砂第一小学校跡施設に整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
耐震補強	—	耐震診断、設計、工事	完了
施設改修	—	改修工事	完了

●地域コミュニティ活動の推進（市民サービス課）

学校統廃合により廃校となった旧花見川第五小学校の跡地を有効活用するため、地域活動・交流の拠点となる地域開放モデル事業施設を設置します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
地域開放モデル事業施設	地元協議	施設整備	完了

●コミュニティセンターの改修（管財課、市民総務課）

コミュニティセンターの安全性の向上や機能回復を図るため、施設を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
中央コミュニティセンター （体育館換気設備更新）	—	設計、工事	完了
中央コミュニティセンター 松波分室（耐震補強）	—	設計、工事	完了
幕張コミュニティセンター （外壁・屋上防水改修）	—	設計、工事	完了
畑コミュニティセンター （耐震補強、外壁・屋上防水改修）	—	設計、工事	完了

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 協働事業提案制度

市民のみなさんの豊富な経験や知識を、市が実施している事業の改善や、市民サービスの向上などにつなげていくため、市民団体からの自主的な企画立案や、市があらかじめ設定した課題・テーマに対する提案をもとに、市と市民団体が協働で事業を行っています。

☎市民自治推進課（043-245-5663）

2 区のみちづくりにおける市民参加

各区役所では、地域の課題解決や地域の活性化を図るため、まちづくり活動を行う団体への助成などをはじめ、市民のみなさんとの協働によるまちづくりを行っています。

☎各区役所地域振興課地域づくり支援室 中央区（043-221-2105）、花見川区（043-275-6203）、稲毛区（043-284-6105）、若葉区（043-233-8122）、緑区（043-292-8105）、美浜区（043-270-3122）

コ ラ ム 町内自治会の加入や結成を促進していきます。

町内自治会は、身近な道路や公園などの清掃や花壇づくりといった活動や、防災訓練や防犯街灯の管理、防犯パトロールなど、生活上の様々な課題の解決に取り組むとともに、夏まつりや運動会、ラジオ体操などのレクリエーション活動を通じ、地域住民の交流と親睦を図り、地域の連帯意識の向上を図る団体です。

本市の町内自治会の加入率は、71.7%（平成24年〔2012年〕2月末時点）となっており、近年、結成率、加入率とも伸び悩んでいます。その主な原因としては、居住形態や生活様式の変化により、住民同士の交流が減ったこと、また、町内自治会活動の内容や加入手続きの周知が十分でないことなどが考えられます。

大規模災害の発生時から、日常の些細なことまで、いざというときに頼りになるのは隣近所のつながりです。

本市では市民のみなさんに、町内自治会の必要性や町内自治会加入の意義などを周知しながら、町内自治会の結成や加入の促進を図ります。

【市の加入促進の主な取り組み】

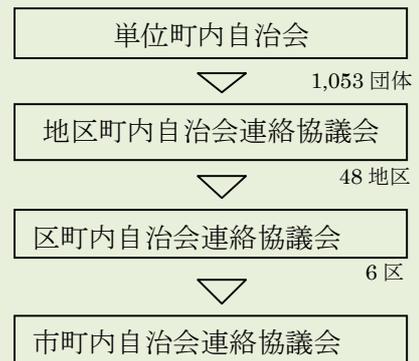
- 1 転入者の方へ「町内自治会加入のしおり」を配布
- 2 県宅地建物取引業協会千葉支部・町内自治会連絡協議会・市による町内自治会加入促進についての協定締結
- 3 市政だより等での広報、出前講座の実施

☛ 結成や加入のお問い合わせ（各区役所地域振興課地域づくり支援室）

中央区 043-221-2105 花見川区 043-275-6203 稲毛区 043-284-6105

若葉区 043-233-8122 緑区 043-292-8105 美浜区 043-270-3122

【市の町内自治会】



防災訓練での放水体験



夏祭りの準備

3-5-2 男女共同参画の推進

施策の展開

市民意識調査の結果をみると、男女の地位の平等感において、男性の方が優遇されていると感じている人の割合は高く、「男性は仕事、女性は家事育児」といった固定的な性別の役割分担意識も依然として残されています。

男女の人権が尊重され、性別に関わりなく個性や能力が発揮されるため、今後とも男女共同参画社会の形成に向けた取組みを進めるとともに、事業活動における男女共同参画の推進や、仕事と家庭の両立支援に向けた職場環境の整備を促進します。

また、男女共同参画センターにおける、調査や相談機能などを生かした事業を実施し、男女共同参画の拠点施設として、積極的な事業展開を図ります。

計画事業

■男女共同参画の推進（男女共同参画課）

男女共同参画社会を形成するため、新ハーモニープラン後期計画の重点施策である男女共同参画に取り組む事業者を支援します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
男女共同参画推進事業者の登録数	41 団体	34 団体増	75 団体

●女性消防職員用施設改修（消防局人事課）

女性消防職員の職場環境を整備するため、女性消防職員の交替制勤務などを可能とする施設の改修を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
女性職員の交替勤務のための施設改修	3 消防署	3 消防署増	6 消防署

●DV※被害者への支援の充実（健全育成課）【新規】【再掲】

DV※被害者とその児童を支援するため、体制の充実を図ります。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
民間支援施設（シェルター）	—	助成 1 件	助成 1 件

●DV※防止・支援基本計画の策定（健全育成課）【再掲】

DV※の防止や啓発を図るため、DV※防止・支援基本計画を策定します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
DV※防止・支援基本計画	素案	策定	策定

